

羽島市民病院経営強化プラン（概要版案）

【プラン概要】

➤ プラン計画期間

令和 6 年度から令和 9 年度までの 4 年間

➤ 病院ビジョン

“地域住民に寄り添い頼られる病院”
 “安心して明るく働きがいのある職場環境”
 “持続可能な病院運営体制”

➤ 経営強化プランの重点課題

I. 地域包括ケアシステムへの貢献

～地域住民が住み慣れた地域での暮らしを支えていくために～

II. 市民との信頼関係の構築

～地域住民に寄り添い頼られる病院であるために～

III. 自立型人材の育成

～職員から信頼され明るく働きがいのある安心な職場環境とするために～

IV. 健全な病院経営

～持続可能な病院運営を行っていくために～

V. 災害時における医療・新興感染症対策等の政策医療の確立

～災害時・新興感染症等の発生時に地域に必要な医療提供をするために～

【施設概要】

名称	羽島市民病院
所在地	岐阜県羽島市新生町3丁目246番地
開設年月	昭和30年10月8日
病床数	一般271床、結核病床10床
基本理念	「心のかよう医療を通じて地域に貢献します」
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民に頼られる病院となります。 安心して明るく働きがいのある職場環境をつくります。 持続可能な病院運営体制をつくります。
行動指針	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムへの貢献をします。 市民との信頼関係を構築します。 医療のprofessionalを育成します。 健全な病院経営をします。 地域政策医療の確立をします。
診療科目	内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・糖尿病内科、リウマチ科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、臨床検査科、人工透析内科
職員数	329人（令和5年4月1日現在） うち 医師26人、看護師208人、薬剤師13人

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

➤ 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能

地理的に必須な二次救急医療、急性期医療を担うとともに、新興感染症への対応、災害時の医療への備え、高齢患者の増加に伴い回復期機能を有し、高齢患者を支える在宅療養後方支援病院としての役割を果たしていきます。

	平成29年度 (前プラン策定時)	令和5年度 (現在)	令和7年度 (地域医療構想)	令和9年度 (計画最終年度)
一般病床数	271床	271床	271床	271床
うち急性期	178床	132床	132床	132床
うち回復期	76床	112床	112床	112床

➤ 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能

地域住民が住み慣れた地域で最期まで暮らし続けることができるよう、地域住民に寄り添い、地域医師会や地域包括支援センター、介護事業者等と連携して高齢患者を支え、回復期機能を強化していくとともに疾病予防、重症化予防、介護予防を推進していきます。

➤ 機能分化・連携強化

高度急性期病院と連携して二次救急医療体制及び急性期機能を担っています。病病連携及び病診連携を通じて、地域に必要な医療提供体制を継続的に維持していきます。

➤ 一般会計負担の考え方

原則毎年度総務省が定める地方公営企業繰出基準の経費の範囲内において算定します。

➤ 住民の理解のための取組

当院の役割・機能について、地域住民に様々な広報を通じてご理解をいただくとともに、病院運営委員会等で経営強化プランの点検・評価を適切に実施していきます。

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

➤ 医師・看護師等の確保

女性医師が増加してきたことや多様な働き方へのニーズを踏まえ、柔軟な働き方ができるよう体制整備をしてきており、引き続き、関係機関との連携を強化し柔軟な採用を行っていきます。また、臨床研修医の受入れ体制の充実、病院見学を積極的に受入れ、医学生への合同説明会に参加するなど若手医師の採用活動を積極的に行っていきます。

➤ 医師の働き方改革への対応

勤怠管理システムによる打刻や自己研鑽に関するルールを定め、適切な労務管理の推進、体制を整備しています。特定行為看護師の育成や病院内における働き方改革ワーキング等によりタスクシフト／シェアを推進していきます。

(3) 経営形態の見直し

- 地方公営企業法の一部適用での経営を継続し、市との円滑な連携を図り地域医療を確実に確保するなかで、健全経営を目指します。

(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

- 新たな感染症の感染拡大時等においては、新型コロナ専用病棟として活用した一般病床を転用するなど、他の医療機関と連携して感染患者の受入れ及び地域の感染症対応を行っていきます。感染対策向上加算1を取得しており、平時より羽島市内の感染防止対策の基幹的な役割を果たす医療機関として、地域の医療機関への指導的役割を担っていきます。
- 感染拡大時を想定した専門人材の確保・育成として、感染対策の更なる向上のため、インфекションコントロールドクター及び感染管理認定看護師など専門人材の育成に努め、医療従事者に限らず病院内で働く全ての人材における感染対策に関する教育を行い、引き続き院内の感染症対策及び意識啓発を図っていきます。

(5) 施設・設備の最適化

➤ 施設・設備の適正管理

中長期的な視野に立った羽島市民病院長寿命化計画に基づき、経営状況を勘案しつつ、施設・設備の修繕や更新を計画的に行うことで、ライフサイクルコストの縮減や平準化を図っていきます。また、施設の有効活用並びに適正化については、医療動向を踏まえ検討していきます。

➤ デジタル化への対応

電子カルテや部門システムの導入により職員の情報共有及び業務の効率化を推進しており、更なるICTを活用した効率化及び利便性の向上に取り組んでいきます。また、オンラインによる他施設との会議や家族等との面会対応や、マイナンバーカードの健康保険証利用などのオンライン化への対応を行っており、情報セキュリティ対策にも留意して、患者や地域住民への周知等、公立病院としてその利用促進を図っていきます。

(6) 経営の効率化等

- 地域の持続的な医療提供体制を維持し続けるために、地域に根ざして患者の確保を図るとともに、経費の節減などにより令和9年度の経常収支黒字化を目指します。

【目標達成に向けた具体的な取組】

- ✓ 前方・後方連携の促進
- ✓ 予防対策の充足
- ✓ 患者サービスの向上
- ✓ 多職種で取組み自律型人材の育成
- ✓ 働き方改革の推進
- ✓ コストの適正化
- ✓ 災害時・感染症等の政策医療の維持

【主な数値目標】

数値目標	令和4年度 (実績)	5年度 (見込)	6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
経常収支比率(%)	99.5	95.3	94.2	96.0	96.7	100.0
修正医業収支比率(%)	77.3	81.1	86.1	88.4	89.9	92.5
医業収益(百万円)	4,650	4,939	5,205	5,326	5,414	5,487
医業費用(百万円)	5,833	5,889	5,852	5,840	5,839	5,756
医業損益(百万円)	△1,183	△950	△647	△515	△425	△268
経常損益(百万円)	△28	△289	△356	△242	△205	2
入院患者数(人/日)	173	180	192	198	202	205
外来患者数(人/日)	414	447	447	447	447	447
新入院患者数(人)	3,077	3,170	3,470	3,650	3,760	3,830
救急搬送患者数(人)	1,982	2,000	2,050	2,100	2,150	2,200
手術件数(件)	722	770	790	810	830	850
紹介患者数(人)	5,840	6,000	6,050	6,100	6,150	6,200
逆紹介患者数(人)	6,050	6,200	6,250	6,300	6,350	6,400